

会 議 結 果 の お 知 ら せ

- 1 開催した会議の名称 第2回佐伯市総合計画生活基盤・環境市民会議
- 2 開催日時 令和4年10月24日(月) 19:00～20:55
- 3 開催場所 佐伯市役所 本庁舎 6階 大会議室
- 4 出席者
委員：芦刈明美、安部秀昭、志賀智昭、戸高雅史、戸高達文、仲野友美、平野憲司、御手洗麻衣、森崎忠良、渡邊早苗
オブザーバー：大分県佐伯土木事務所 次長兼企画調査課長 奈良崇史
国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所 工務課長 栗田耕一郎
認定NPO法人地域環境ネットワーク 代表理事 三浦逸朗
事務局：政策企画課 課長 末永健二、総括主幹 田村英朝、清田甲生
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 1人
- 7 議題及び結果
(1) 議題 第2次佐伯市総合計画後期基本計画(案)に対する意見等について
(2) 結果 事前配布資料により、事務局が資料説明をした後、質疑応答を行った。
- 8 会議の資料名一覧
(1) 後期基本計画(案)
- 9 問い合わせ先
担当課 総合政策部 政策企画課 政策企画係
電話番号22-4104 内線563

令和4年度 第2回 佐伯市総合計画生活基盤・環境市民会議結果について

日 時 令和4年10月24日（月） 19：00～20：55

場 所 本庁舎6階 大会議室

出席者 【委員】

芦刈明美、安部秀昭、志賀智昭、戸高雅史、戸高達文、仲野友美、平野憲司、御手洗麻衣、森崎忠良、渡邊早苗

【オブザーバー】

大分県佐伯土木事務所 次長兼企画調査課長 奈良崇史

国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所 工務課長 栗田耕一郎

認定NPO 法人地域環境ネットワーク 代表理事 三浦逸朗

【事務局】

政策企画課 末永課長、田村総括主幹、清田

総合計画本部会議検討部会員

欠 席 【委員】

山口清一郎、河村雄太

傍聴者 1名

1 会長挨拶

平野会長が挨拶を述べた。

2 議事

平野会長が議長となり、議事を進行した。

（1）後期基本計画案に対する意見について

《主な質疑応答》

政策1 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生

施策1 自然環境の保全

【戸高雅史委員】

現在は市内の小中学生を対象にしていると思うが、関東、関西、福岡などの都市部の子どもは、より宇目、エコパークの価値を受け止められる可能性がある。外からの目線で都市部の子供たちに体験してもらい、フィードバックをもらう。エコパークという宇目の魅力は、自然だけでなく、自然と人のつながり、そこから生まれる暮らしがすごく価値がある。自然の差別化は難しいが、暮らしに触れる、人と自然のつながりから生まれる文化に触れるその体験が身近にない都市部の子どもたちがより受け止められると感じている。

自然のすばらしさ、大切さという部分にエコパークの理念である、自然と人のつなが

り、そこから育まれてきた暮らしや文化という要素が入ることで、よりエコパークのエッセンスに触れてもらえる。エコパークは、3つのエリアがあり、核心地域の傾山山頂周辺、緩衝地域の藤河内溪谷の上流部、これからは移行地域である人々の暮らしの場が大事になってくる。具体的な活動とし、田植や稲刈り、祭りなど、それ自体が自然と人とのつながりから育まれてきた。それが宇目ならではの体験になり、市全体につながると考えている。

【エコパーク推進室 阿南局長】

現在、市内の小中学校を中心に次世代育成事業を行っている。ご意見のとおり都市部の子どもたちの利用についても検討したい。

自然の素晴らしさや大切さを体感する自然体験イベントの開催についても、子どもも含めた色々なツアールイベントを行っているので、文言についても修正したい。

【戸高達文委員】

私は海で働いているが、先日の台風時もそうだが流木が厄介でプロペラの破損や養殖生け簀に入り、流木に悩まされている。主な取組アで前期では「流木防止」とあるが後期では「未利用材」となっている。流木防止ではなくなったのか。

【林業課 佐保課長】

文言から「流木防止のため」が消えているが、流木をなくすための具体的な取組として、まず森林の残材を有効活用しいかに減らすか、一つがバイオマス発電等の利用するため文言の修正をしている。流木対策防止がなくなったのではなく、総合的な解決手段として未利用材を減らしていく。使える木は再利用し、山に残る木を減らす取組として修正している。流木被害については今後も水産課と連携しながら進めていく。

施策2 快適な生活環境の確立

【平野会長】

以前、発泡スチロールを改修していたが、今後の収集の計画はないのか。

【清掃課 石田課長】

以前は回収していたが、現在はもえるごみで出していただきたい。

【渡辺委員】

古紙回収について、一部スーパーでの拠点回収とあるが、その場所を市民に分かるようにしたほうがよいのでは。また、中津市が古紙エコステーションの取組をしているが、佐伯市ではこれからの計画にないのか。

【清掃課 石田課長】

民間が実施している古紙の拠点回収は、清掃課でも全て把握しているものではないが、民間企業に御協力を得られれば市の周知内容として盛り込むことも可能だと思うが、協議していきたい。中津市のような拠点回収については、スチール製の大型の物置を設置している状況で、佐伯市では設備を整えることまでは考えていない。今後のニーズが高まれば検討していきたいが、現在は定期収集を実施したい。

【渡辺委員】

将来的に考えていただきたい。

施策3 住宅環境の整備

【渡辺委員】

空き家を把握してるということですが、区長がその地区を把握して報告するのは何年に1回といった定期的なものか。

【コミュニティ創生課 安藤課長】

空き家の全棟調査を平成29年に実施し、3,625件の空き家がある。それ以降、全体調査は実施していない。区長を通じて、空き家の瓦が飛んでいる等の情報を得た際に、当課から所有者を特定し、文書で対処を依頼している状況である。そういった情報が寄せられたら大体所有者が亡くなっていることが多い。相続人を調査して文書を出している。

【志賀委員】

後期基本計画案で、「これらは所有者、括弧法定相続人等を含むの管理意識の希薄化、によるものが主な要因」という文言があるが、ひとくくりに管理意識の希薄化ではなく、所有者各々の事情がある。年配で対応が分からない、経済的な理由など様々な理由があるので、区長に頼むのではなく、一步踏み込んだ対応が必要ではないか。

空き家の解体では、解体した後に土地の評価額が変わるなど複合的な理由もあるため、所有者の意見を聴き、市から提案できると事業が進むのではないか。

空き家の有効利用については、市や県の事業があり、建築士から意見を求めたいとのことで建築士会から一人派遣している。行政で横の連絡をうまく取らなければ、担当レベルの意思疎通ができていない。うまく運用できる情報交換が大事である。

【安部委員】

安定的な管理維持を行うことが究極の目的で、後期計画でも市の迅速な対応を目指しとあるが、実際もう少し踏み込まなければ、市営住宅は場所によって差はあるが、住民の高齢化が進んでいる。基本的に棟の管理は住民に任せているが担い手不足もあり色々な問題が起きている。問題が生じた際の相談先が、市の建築住宅課なのか供給公社なのか高齢者にとってわかりにくい。市営住宅の管理について、もう少し市が関与しなければ、限界集落ではないが、住宅版の限界が近づいてきているのではないか。

【建築住宅課 寺前課長】

限界集落に近い形が市営住宅でも発生しつつある。高齢化に伴い、入居者が非常に少なくなり、その中で自治会等での機能しづらくなっているところもある。市の施策としては、市営住宅を少しでも集約する方向で考えている。具体的には便利の悪い場所や空きが多い場所では移転をお願いしている。空いた住宅は除却する。今後の大きな課題としてこれから考えていかなければならない。

施策4 公園緑地の整備

【平野会長】

施策の中に城山があるが、文化会館も取壊しになり、市民から今後どうなるのかとい

う意見もある。また、一時避難所として位置付けていたがいつの間にか消えたという話も聞いた。後期計画では国指定の文化財という形と、自然環境を保全するという相反する部分あるので、整理をしたほうがよいのではないかな。

【都市計画課 三浦課長】

城山については、令和5年に国指定の史跡になると思われる。市民が集まる公園、観光客を呼び寄せられる公園にするため、登山道の整備や市街地から石垣が見えるような支障木の剪定を行う。9か所の避難地があるが、国指定の関係もあり後期計画では削除している。

【平野会長】

木を切って石垣が見えるようにしているが、石垣の上に生えている木は石垣を壊すのでそういう部分を優先的に切るべきだと思う。

【都市計画課 三浦課長】

来年度1年間掛けて分析調査を行う。それを踏まえて対応したい。

施策5 景観の形成

【主な意見なし】

施策6 災害に強いまち（人）づくり

【渡辺委員】

一時避難所の設備について、低木の伐採を行うものは形状の変更を行わないこととあるが、避難地に低木はないが石が多くテントが張れない状況である。コンクリートやアスファルトを敷きたいが補助金は使えるのか。

【防災危機管理課 浅倉課長】

補助金ではなく、原材料支給は可能である。

【渡辺委員】

原発事故があった場合、愛媛県から大分県に避難する訓練があったが、大分から佐伯への避難もあるのか。

【防災危機管理課 浅倉課長】

佐伯市原子力災害対策実施要領を大分県と策定しているが、愛媛県の方が大分県内に避難する受入れ候補施設は決まっているが、それ以外は未定である。

【渡辺委員】

もしもの場合は、宮崎県や熊本県に避難できるよう、決めておいたほうが将来的にいいと思う。

【防災危機管理課 浅倉課長】

伊方原発の距離が55キロメートルで非常に近いため、佐伯市民の避難場所については、風水害と同じ場所になっているので、遠方に避難する必要があるか等、今後検討していきたい。

【仲野委員】

これからの基本方針コの「要配慮者の安全確保及びその防災活動の支援を行うための

政策」とあるが、2，3年前に区長と民生委員を集め、要配慮者の名簿を作成するという説明を行ったと思うが、どこまでその情報が収集されているのか。

【社会福祉課 脇田課長】

佐伯市全体の名簿登録者は1,718名。その中で避難計画の作成について同意した方は1,461名である。さらにこの中で個別避難計画を作成済みが837名。全体的に57%程度しか進んでいない現状であるが、難しい点は、協力員になる方が大変少ないことが問題である。今後も区長会と連携を取りながら進めたい。

【仲野委員】

区長にということだが、民生委員の募集が区長に委ねられてると思うが、その件に関しどこまで進んでいるか。

【社会福祉課 脇田課長】

地区ごとに推薦方法が違うので、振興局単位や地区単位でお願いしている状況である。今回、民生委員の推薦について、新規の方、留任の方についても区長の推薦をいただく形で進めている。

【仲野委員】

主な取組の「消防団確保、育成」について、私は女性消防団であるが団員募集に苦勞しており、男性消防団の募集も同じだと思うが、市ではどういう募集、取組をしようとしているのか。

【消防総務課 小野課長】

全国的な人口減少により消防団の数も減っており、平成17年に2,000人近くいた団員が令和4年4月で1,538名と400名ほど減少している。佐伯市も団員の確保は大変難しい。現在、消防団員の確保のため年額報酬の引き上げと、機能別消防団員として消防団員等が退団後も基本団員とは違った活動の仕組みも取り入れている。今年、消防団員の定年制を各方面隊で設置する取組も行っている。

【仲野委員】

団員募集のため、広報など具体的な取組はあるか。

【消防総務課 小野課長】

これまで市報の掲載やPR動画の作成、団員による戸別訪問、区長会連合会での協力要請を行った。各種イベントでのパンフレット配布及び活動内容の説明などを実施している。また、消防団協力事業所への加入促進、担い手育成として、中学生が出初式に参加しています。分団の統合を行い、分団あたりの人数を増やす取組を行っている。

【渡辺委員】

防災士の育成スキルアップの取組とあるが、ただ単に防災士を取っただけでは意味がない。防災士が勉強し、活動にいかせる取組が必要だと思うが、具体的に何かあるか。

【防災危機管理課 浅倉課長】

大分県と共同でスキルアップ講習を実施しているが、年数回である。市としても防災士の育成は今後の課題である。検討していきたい。

政策2 暮らしと産業を支える生活基盤の創生

施策1 水道の整備

【主な意見なし】

施策2 下水道の整備

【安部委員】

県も汚水衛生処理率に危機感を持ち、単独浄化槽から合併浄化槽への転換に力を入れてきた。全国では大分県が43位と遅れている。その中でも佐伯市は低いほうである。特に問題なのが、設置した浄化槽の管理がどの程度できているかということ。特に単独浄化槽においては大多数が管理できていない。南部保健所が管理だと思うが、将来問題にならないように県と連携して対応していただきたい。

【下水道課 清家課長】

先日、県、市、事業者と話し合いを行った。市としては、ケーブルテレビや市報での啓発活動を行っていきたい。

【森崎委員】

単独浄化槽から、合併浄化槽への転換を急ぐのであれば、上乗せ補助金を継続したほうがよい。

【下水道課 清家課長】

令和4年度が最終年だが、続けるよう県に要望している。

【森崎委員】

老朽化した管路の更新とあるが、下水道地域において、管路等が損傷してるところを浄化槽に変える考えはあるか。

【下水道課 清家課長】

下水道区域内に浄化槽を入れることはできない。

施策3 道路・情報インフラの整備

【戸高雅史委員】

うめキャンプ村の運営をしているが、明け方4時から7時頃の国道326号のトラック等の走行の音が大きい。キャンプ場だけでなく大分側には集落もあるので何か対応できるとありがたい。

【建設課 武田課長】

関係機関と相談したい。

施策4 生活交通体系の構築

【主な意見なし】

施策5 中心市街地の活性化

【主な意見なし】

(2) 次回の市民会議の開催日について

調整の結果、11月21日（月）19時から開催することに決定した。